

2020年2月7日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報の取りまとめは以下のとおり。

1 内政

（1）グアテマラ大統領就任式（山口泰明特派大使の出席）

1月14日、ジャマテイ大統領就任式が国立劇場（首都グアテマラシティ）で行われ、山口泰明議員が特派大使として出席した。また、就任式に先立ち、山口特派大使は13日にモラレス前大統領、14日にジャマテイ大統領と会談を実施し、二国間関係等について協議した。

ジャマテイ大統領就任式の概要は以下のとおり。

・各国の主な出席者（首脳級）

ブケレ・エルサルバドル大統領

エルナンデス・ホンジュラス大統領

コルティソ・パナマ大統領

ドゥケ・コロンビア大統領

モレノ・エクアドル大統領

ベラスケス・パラグアイ副大統領

キャンベル・コスタリカ副大統領

ファーバー・ベリーズ副首相

ホルヘ・ルイス・タピア・フォンセカ・キューバ副首相

・式典概要

カスティージョ新副大統領およびアナ・リセット・アリアガ夫人、ジャマテイ新大統領および娘のアナ・マルセラ氏、カブレラ前副大統領および夫人、最後にモラレス前大統領および夫人がステージに入場、国歌斉唱後、ジャマテイ新大統領およびカスティージョ新副大統領が宣誓を行った。続いてジャマテイ新大統領の就任演説が約30分間行われ、その後、前大統領および前副大統領が退場し大統領就任式は終了した。

・ジャマテイ大統領の就任演説

冒頭でジャマテイ大統領は「完璧な政府になるつもりはなく、正しい政府になるよう尽力する。国に仕える第一人者にならなければならない」と述べた。

その後、「優先的に取り組むべき3つの法案がある。1つ目は、汚職の巣窟で金の無駄遣いである大統領府官房警護庁（SAAS）を廃止するための法案である。2つ目は、マラス（青少年凶悪犯罪集団）等の犯罪集団をテロリストと定義し、政府のより積極的な治安改善策を可能とするための法案である。3つ目は警察の武器使用をより自由に行えるよう変更し、治安改善に取り組むための法案である」と述べた。

教育・保健に関し「教育改革を行い、貧困層が十分な教育を受けられるようにする。教育はグアテマラ発展の柱であり、社会のエンジンである。また、子供の栄養失調は必ず解決しなければならず、政府は優先して取り組む」と述べた。

汚職対策に関し「汚職は国家を傷つけている。しかし、本日で酒宴は終わり、工事不正も、密輸も、脱税も終わらせる。近日中に汚職対策専門委員会を設置する」と述べた。

経済に関し「ビジネス環境改善のための法案を提出し、短期間で成果をあげる。グアテマラには更なる海外投資を呼び込み、雇用を増加させるための潜在性がある。法的安定性 (certeza juridica) や海外企業の保護に取り組む。ただし、実現するには治安改善が大前提である」と述べた。

(2) ジャマテイ政権閣僚名簿

大統領: アレハンドロ・エドゥアルド・ジャマテイ・ファジャ

副大統領: セサル・ギジェルモ・カスティージョ・レジェス

<閣僚>

外務大臣: ペドロ・ブロロ・ピラ

内務大臣: エドガル・ゴドイ・サマヨア

国防大臣: フアン・カルロス・アレマン・ソト

財務大臣: アルバロ・ゴンサレス・リッチ

通信インフラ住宅大臣: ホスエ・エドムンド・レムス・シフエンテス

教育大臣: クラウディア・ルイス・カサソラ

農牧食糧大臣: オスカル・ダビド・ボニージャ・アギレ

経済大臣: ロベルト・アントニオ・マロウフ・モラレス

保健大臣: ウゴ・モンロイ

労働社会保障大臣: ラファエル・ロボス・マドリード

エネルギー鉱山大臣: アルベルト・ピメンテル・マタ

文化スポーツ大臣: リディエット・シルバナ・マルティネス・カジェタノ

環境天然資源大臣: マリオ・ロベルト・ロハス

社会開発大臣: ラウル・ロメロ・セグラ

(3) 2020年-2021年における国会議長団の選出

1月14日、2020-21年を任期とした国会議長団(議員9名)が選出された。

国会議長: アラン・ロドリゲス(バモス(VAMOS))

第一副議長: ソフィア・エルナンデス(国民革新党(UCN))

第二副議長: ルイス・ロサレス(バロール(VALOR))

第三副議長: アルマンド・カスティージョ(ビジョンと原則党(VIVA))

第一書記: フェリペ・アレホス(みんなの党(TODOS)) (再選)

第二書記: ルディ・ペレイラ(国民集中戦線(FCN))

第三書記: ドウグラス・リベラ・メリダ(ウマニスタ党(HUMANISTA))

第四書記: エルナン・モラン・メヒア(市民繁栄党(PC))

第五書記: カルロス・サンティアゴ・ナヘラ(国民希望党(UNE))

(4) 2020-24年の国会(計160議席)における各党議席配分

政党名(*: 新党)

議席数(前政権議席数)

① 国民希望党(UNE, 中道左派) ----- 52 (32)

②	バモス党 (VAMOS, 右派, 与党, *)	-----	17 (0)
③	国民革新党 (UCN, 右派)	-----	12 (6)
④	バロール党 (VALOR, 右派)	-----	9 (0)
⑤	国民福祉党 (BIEN, 中道右派)	-----	8 (0)
⑥	国民集中戦線 (FCN, 右派, 前政権与党)	--	8 (37)
⑦	種の運動党 (Semilla, 中道左派, *)	-----	7 (0)
⑧	みんなの党 (TODOS, 右派)	-----	7 (16)
⑨	ビジョンと原則党 (VIVA, 右派)	-----	7 (4)
⑩	公約・革新・秩序運動党 (CREO, 右派)	---	6 (5)
⑪	ウマニスタ党 (HUMANISTA, 中道右派, *)	--	6 (0)
⑫	ウィナック政治運動 (WINAQ, 左派)	-----	4 (1)
⑬	勝利党 (VICTORIA, 右派)	-----	4 (0)
⑭	市民繁栄党 (PC, 中道右派, *)	-----	3 (0)
⑮	統一会派党 (UNIONISTA, 左派)	-----	3 (1)
⑯	国民革命連合 (URNG, 左派)	-----	3 (1)
⑰	国民進歩党 (PAN, 右派)	-----	2 (3)
⑱	国民解放運動党 (MLP, 左派, *)	-----	1 (0)
⑲	ポデモス党 (PODEMOS, 右派)	-----	1 (19)

(5) 2019年腐敗認識指数

1月23日、トランスペアレンシー・インターナショナル(Transparency International)は、2019年腐敗認識指数(Corruption Perceptios Index)を発表し、グアテマラは180カ国中146位で史上最低順位であった。モラレス前政権発足年である2016年136位、2017年143位、2018年144位であり、前政権期に10個順位を下げた。モラレス前大統領による無処罰問題対策国際委員会(CICIG。2019年9月で活動終了済)の設置期限(マンドート)を更新しないとの決定が、順位低下の主な要因である。

2 外交

(1) ジャマテイ大統領のグアテマラ米国商業会議所(AmCham)主催昼食会への出席

1月15日、ジャマテイ大統領は、AmCham主催の昼食会に出席した。カスティージョ副大統領、マロウフ経済大臣、アダム・ポーラー米国国際開発金融公社(DFC)CEO等が同席した。

同経済大臣および同DFC・CEOは、グアテマラ経済開発を促進し、エネルギー・インフラ・建築分野で民間セクターを支援する目的で、DFCはグアテマラ政府に10億米ドルを提供するとの覚書に署名した。ジャマテイ大統領は「米国の支援に感謝する。グアテマラに多くの雇用が創出されるだろう」と述べた。

(2) 中米統合的開発計画案の引渡式への出席

1月15日、ジャマテイ大統領は、ブロロ外相、エブラル・メキシコ外相、ヒル・エルサルバドル外相および駐グアテマラ・ホンジュラス大使とともに、バルセナ国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)事務局長による中米統合的開発計画(目的は、貧困地域の開発による移

民問題の解決等)の第4次案引渡式に出席した。案には22のプログラムと108のプロジェクトが明記され、5年間で2,500万米ドルの投資が予定されている。

(3) マドゥーロ・ベネズエラ政府との外交関係の断絶

1月16日、グアテマラ政府は、マドゥーロ・ベネズエラ政府との外交関係の断絶を発表した。同決定は在グアテマラ・ベネズエラ大使館にいる残り1名のベネズエラ外交官(マドゥーロ側)の退去および同大使館の閉鎖を含む。

1月18日、グアテマラ政府は、ベネズエラに滞在するグアテマラ人外交官の引き上げを決定し、同日中にグアテマラへ帰還する予定であると発表した。

3 経済

(1) 2020年度最低賃金

2019年12月30日、労働社会保障省は2020年度最低賃金を発表し、農業従事者の最低賃金は前年から変更しない一方、非農業従事者および輸出業・アパレル等加工工場(maquila)従事者の最低賃金を前年よりも約3%引き上げた(表1)。政府は引き上げの理由をマクロ経済指標等から総合的に判断したと説明している。

<表1: 2020年度最低賃金>

職種	最低賃金/時間		最低賃金/日		最低賃金/月	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
非農業	Q11.61 (約165円)	Q11.27 (約165円)	Q92.88 (約1,380円)	Q90.16 (約1,350円)	Q2,825.10 (約42,375円)	Q2,742.37 (約41,130円)
農業	Q11.27 (約165円)	Q11.27 (約165円)	Q90.16 (約1,350円)	Q90.16 (約1,350円)	Q2,742.37 (約41,130円)	Q2,742.37 (約41,130円)
輸出業, 加工工場 (maquila)	Q10.61 (約150円)	Q10.30 (約150円)	Q84.88 (約1,260円)	Q82.46 (約1,230円)	Q2,581.77 (約38,715円)	Q2,508.16 (約37,620円)

※Q: ケツァル

(出典: 労働社会保障省)

(2) 仏の租税回避地ブラックリストからのグアテマラ除外

1月7日、フランス経済・財務省は、同国作成の租税回避地ブラックリストからグアテマラ、ブルネイ、マーシャル諸島、ナウルおよびニウエを除外した(※1)と発表した。フランス作成の租税回避地ブラックリストは税の透明性確保に協力的でない国および地域をまとめたものである。

(※1: 2013年5月、フランスは、グアテマラに銀行秘密開示に関するルールが存在せず、税の透明性が保障されていないと判断し、グアテマラを同リストに含めた。)

フランス経済・財務省は今回の除外に至った詳細な要因を発表していないが、グアテマラを含め今回リストから除外された国は、経済協力開発機構(OECD)により作成された税務行政執行共助条約(※2)に署名し、税務に関する透明性確保の意思が確認できたためリストから除外し

たと説明した。

(※2 : Convention on Mutual Administrative Assistance in Tax Matters。締結国間で情報交換等を行い、脱税や租税回避等に対処することを目的とした条約で、グアテマラは2017年6月に署名した。)

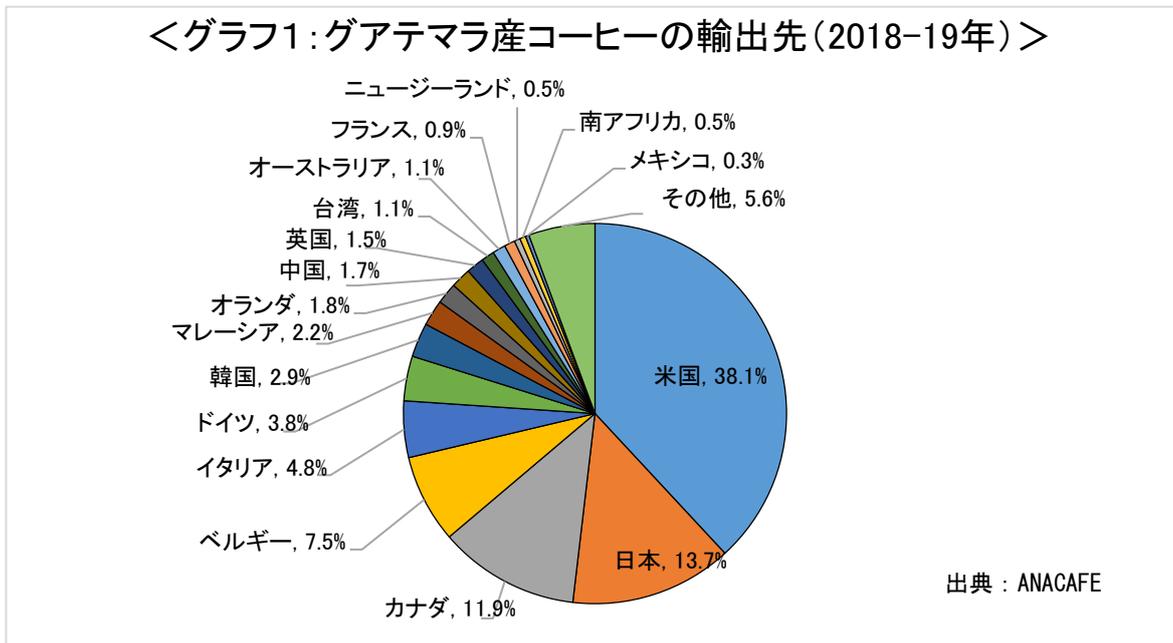
(3) 2019年海外送金前年比13.1%増

1月8日、中銀(BANGUAT)は、2019年における海外(主に米国)からグアテマラへの送金額が105億830万米ドルに達し、前年に比べ13.1%増加し、2019年名目GDPの12%に相当すると発表した。レシーノス中銀総裁によると、海外送金が増加している要因の一つは米国による不法移民取締りの強化である。在米グアテマラ人不法移民は当局に発見され拘束される前に財産をグアテマラにいる家族へ送っており、海外送金の増加につながっている。

(4) グアテマラ産コーヒーの主要輸出先

全国コーヒー協会(ANACAFE)によると、2018-19年収穫において、グアテマラ産コーヒーの輸出先1位は米国(総輸出量の38.1%)、2位は日本(13.7%)であった(グラフ1)。

グアテマラ非伝統産品輸出業協会(AGEXPORT)コーヒー部コーディネーターのセルヒオ・マサリエゴス氏は「世界コーヒー市場におけるグアテマラ産コーヒーの割合はわずか2.6%程であるものの、グアテマラ産コーヒーは最も高品質で人気の高いコーヒーの一つである」と述べている。



(5) 2019年観光客数前年比6%増

観光庁(INGUAT)によると、2019年グアテマラ観光客数は255万9,599人であり、前年より約15万3,697人増加し、前年比約6%増であった。当初は前年比10%増と試算されていたが、その達成には至らなかった。チャホン INGUAT 役員は、グアテマラの不安定な政治、ホンジュラスやエルサルバドルからの移民キャラバンの通過等が影響し、観光客数が試算を下回ったとしている。

4 治安・社会

ホンジュラス人を中心とした新たな移民キャラバンの発生

1月15日以降、米国を目指すホンジュラス人移民キャラバンがグアテマラに入国し、1月18日、キャラバンの一部がグアテマラ・メキシコの国境であるサン・マルコス県テクン・ウマンに到達した。移民はメキシコ入国を求めたが、メキシコ国家警備隊は不法な手段（移民関連書類の不携帯等）でのメキシコ入国を認めなかった。

1月20日、滞留していた移民キャラバンの一部が、国境橋の下を流れるスチアテ川を泳いで、または浅瀬を歩いて渡り、メキシコへの不法入国を試みた。同国境付近には大量のメキシコ国家警備隊が派遣され、催涙ガス等で川からの移民の不法入国を阻止した。拘束された移民は、当局の車両等で祖国へ移送されている。他方、メキシコ国家警備隊から逃れた移民が川を渡り終え、メキシコに（不法）入国したと見られている。移民は男性、女性、子供連れの女性等様々であり、多くはホンジュラス人であるが、グアテマラ人、エルサルバドル人、ニカラグア人も含まれる。

◇主要経済指標◇	2020年	2019年		2018年	2017年
	1月	12月	11月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	3.41%	2.92%	2.31%	5.68%
貿易収支（百万米ドル）	未発表	△621.3	△755.5	△8,743.8	△7,407.7
輸出（百万米ドル）	未発表	923.6	997.9	10,990.2	10,982.0
輸入（百万米ドル）	未発表	1,544.9	1,753.4	19,734.0	18,389.7
外貨準備高（百万米ドル）	未発表	14,789.0	14,604.1	12,755.6	11,769.5
外国からの送金（百万米ドル）	未発表	940.8	819.9	9,287.7	8192.2
為替レート（対米ドル月平均）	未発表	7.68	7.70	7.52	7.35

（出典：中銀，国立統計院） 注）本年より前の年の為替レートは年平均